

品優良 材合 量豊
肉内精大
 京都産出瓦斯販賣有聲座隣
 コーラス持的販賣有聲座隣
 番〇六一出呼話市町橋長町平
 マシタイ達配速早ズラハ拘ニ少多ハ文注御
 スマ願シ試御ハ度一非是

赤心堂病院
 外科 耳鼻科
 婦人科
 平町字田町
 電話四七九番

赤心堂病院
 赤心堂病院
 赤心堂病院

毎月 三日は定期
 休業致します
 ケ月 日の休業は仕事の完全な遂行のためには決して十分ではありませんが休養の後、新たな元気を以て一ヶ月、愉快に働く事が出来るならば幾分でも御客様の御用命を正確に近く取扱ふ事出来ようかといふ私共の念願でございます
 どうぞ御客様の御ゆるしを御祈致します
柴田書店
 トモ

藤沼醫院
 藤沼醫院
 藤沼醫院

山崎印油
 山崎印油
 山崎印油



元 造 醸
 社會名合崎山屋鹽
 番〇一園電
 番七二環話

春植球根
 カンナと
 グラヂオラス
 一球六錢より二十錢まで
 十數種入荷
 目丁四町平
 ヤトモツマ
園藝種子部

羽二重片側帶地
 本セール・本ネル
 澤山新荷ガ捕ヒマシタ
 季本セル 六圓五十錢
 向全 八圓五十錢
 節英 一圓三十五錢
 賣羽二重帶皮 三圓五十錢

晚春の
 親切第一!!
 警成平町三丁目
中野吳服店
 最モ買ヒヨイ店
 合名 會社
 平町紺屋町
 電話五七〇番

藤沼醫院
 藤沼醫院
 藤沼醫院

美術表具
 開店御披露
玉成堂
 平町田町

高久病院
 第二病室
 院長 醫學士 高久忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽清
 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
 平町田町電話五一三番

馬目太平治
 親戚一同治
 石城郡内郷村内町



刊夕日七十月五

常盤毎日新聞
 初夏の旅から (一)
 警成高女三學年旅行團
 (第一信) 六時半までに平野に集合する、あちらからこちらから、三々五々連立つて驛を目指してやつて来る。どの顔も、どの顔もそわ／＼として少しも落着かぬらしい。そうして嬉しさうに、先刻まで細く／＼絹糸を地上に、つないで居た天気が、やつと少しよくなつた、だが、まだ泣き面をして居る、整列してプラットホームに出る、汽車が来た止まらぬ先に乗らねば、先生に制せられて待つうち

に汽車は、すこぶる長くつながつた、皆わい／＼騒ぎながら、それでも敏速に車中の人となら、窓向ひ坂に蛇の目の傘を片手に、誰か上る、やがてピーつと發車の氣笛が鳴る、さうな／＼行つて参ります。見送つて下さつた先生方はだん／＼後へ見えなくなる。楽しい我等の旅はこれから始まるのだ。

小さな驛に着いた、バナ、を食べて居たKさん、皮をバット車外に投げた、丁度下を通つて居た驛夫の帽子に、ピンヤと當つた「あつしやう」Kさんが叫ぶ、皆がどつと笑ふ、驛夫が、前から又戻つて来た時Kさんは云つた。「どうもすみません」いゝえと驛夫が笑つて通り過ぎた後又笑ひ聲がどつと車内に起つた。かすかに細く雨が降る松林に、杉森に、麥畑に、そして我等の汽車の上に、森も林も、麥畑も、皆青々とし美しい、濡羽鳥が一羽鳴もせず飛んで行く、眞、笠の男が片手に傘を持つて一心である。

養蠶の活況を…… 豫想し掃立意氣込む

▽……氣候の變調で 一週間遅れたが思案の外

氣候の變調に祟られた石城地方は一般養蠶家が桑樹の被害を考へた結果が養蠶の掃立は例年より約一週間程遅れた小名濱測候所が設置されてから四度目の結霜が四月下旬 になつてあつた程一般養蠶家は勿論普通農家及び漁業家まで不作、不漁の前途の如く考へ悲觀して居たので例年より掃立てが幾分遅れた事は已むを得ない事である、糸況が割合に不振に不拘

養蠶家は 活況を豫想してか非常に意氣込んで居り掃立枚數も前年と大差なく一萬七千枚内外の事である七小川村地方は九日通一般は十二日から十四日頃までの間に概ね掃立てた蠶にあつた

結霜には 幸ひ何等見らるべき被害も無くそれに最近氣候も變つて順調などつて居るので養蠶家は安心して働いて居る

支廳設置 再度の陳情

本日の協議

郡廢成濱通りに支廳を設くべき件に關しては先般縣知事に陳情した井上、古川、草野の三議員を始め伏見平

取締方法を講ずると
(常磐線)△高萩△南中郷
一〇△磯原三〇△關本四
三△勿來四八△植田一五
△泉六二△湯本二五一
△綴一七四△草野一五六

婦人客を襲つた 佐野屋旅館の強盗

出刃庖丁で脅す 非常線を突破して逃走

昨日夕方平町二丁目佐野屋旅館に神奈川縣川崎市綿商鈴木義之助(三〇)と稱して投宿した男あつたが今朝四時頃同旅館裏所より出刃庖丁を持ち來り隣りの室へ熟睡中なりし

投宿客 仙臺市東一

番町佐々木チヨの枕元(三〇)に至り同人を叩き起して「聲を出すとコレだぞ」と出刃庖丁を突き付け「金を出せ」と脅迫したがチヨは「泥棒々々」と連呼した爲め枕元にあつた婦人持ちの金

腕時計 を掻捉つて

二階より飛び下り何れへかへ逃走行術を晦した、平署にては右の急報に接して直



五月の園藝

もはや球根類の花物は落花し始めますから、薄い肥料をやや、また葉の黄ばんだものは陰干しにして貯蔵い

植田町の交通

車の定期運轉石城郡植田町は昨今頗る發展し勿來自動車會社、植田自動車會社、等設立されと遠野方面の定

磐城高女の

關西旅行團から今日は三時半頃から起られてしまつて大急ぎで支度をして宿を出ました。猿澤の池のほとりの柳はまだ夜の夢からさめ切らぬ様な様子でしどけなく垂れ下がつて居りました。大阪についたのは六時卅五分、では大阪毎日新聞社と大阪城を見學致しました。古城の跡の高く築かれた石垣には葛ばかりが何も知らぬげに丁度うら若い命を樂しんで居るかの様にかすかにさ

四倉二三△久の濱五一
△廣野一九△木戸四△龍
田二△當岡二
(警越東線)赤井二〇△小
川郷一〇〇△川前二

時計と百圓

何者にか盗る
愛知縣名古屋市中川アカイ活動寫真會會長木村藤七(三三)は十五日午前五時頃石城郡好間村好時館樂屋にてプラチナ懐中時計(價格八百圓)と現金百圓を何者に盗取されたと十七日平署に盜難届出した由

保護を 加へて調べ

と四谷區傳馬町三の三五久保田菊次(三〇)といふもので十數年前から御嶽教に凝り商賣の爲職を罷めて行者となつたが最近二十日間斷食すれば神になれると聞いたので去る五日から斷食修行をやつたが同夜前記の所でもがき廻つてゐたものと知れた

署員が

さとして藥を嚙ませやうとしても神様になるまでは吞まぬと頑張つて聴かず署員をてこすらしてゐる

斜に切り荒い川砂六分肥料氣のない土四分を混合した土用の中に芽並びに葉をそれ〜さします灌水した後乾かないやうに日たほひをします漸次陽に當てれば、二週間根が伸びます根がいたら四五寸の鉢に植えつけ一本仕立ては六月に入つてから芽をします

平町人事

では定期運轉を開始することになりその外湯本自動車會社では湯本町から植田町を定期運轉するなど同町の交通は非常に便利になつた

▲出生
△南町二一 山内三郎氏次男茂治
△古殿町三三 菅波敏茂氏三女ト

▲婚姻
△久保町三七 高橋丑吉氏(四九)梅木麗子速川町秋山(四五)
△東京府南葛飾郡寺島町加藤勝衛(三九)三丁目二六柏原セツ(二九)

▲死亡
△立町八五 橋久太郎(五七)
△三丁目三六 清水精三(二二)